

# 再び白衣を戦場の血で汚さない

## 日本医労連大会開幕

日本医療労働組合連合会(日本医労連)の第65回定期大会が22日、横浜市内で始まり、安倍暴走政権と対決し、平和と労働者・国民のいのちと生活を守るためにたたかう方針を討議し、確立します。7年連続の増勢で迎えた大会です。24日までです。

あいさつで中野千香子委員長は、戦時中の苦い教訓から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」と誓(ちか)って来たことを強調。「平和でこそ一人一人の命をその人らしく輝かせ



国会議員や各団体からの訴えを聞く  
参加者=22日、衆院第2議員会館前

7/23  
赤坂

# 戦争法案 廃案必ず

## 国会行動 各団体訴え

7年連続増勢で迎えた日本医労連定期大会=22日、横浜市内

**島津氏が国会報告**  
戦争法案の廃案、諸要求の実現を求めて22日、衆院第2議員会館前で定例国会行動が行われました。200人が参加し、「戦争法案は廃案にして」「強行採決に抗議する」とコールしました。

主催者を代表して、全国商工団体連合会の鎌田保副会長があいさつしました。戦争法案について、安倍政権の支持率が急速に落ち込んだのは国民を無視した結果だと指摘し、

「私は83歳です。戦争体験者として許すことはできない。なんとしても廃案に追い込む」と訴えました。

全国生活と健康を守る会連合会の西野武事務局長が「社会保障費を削減し、戦争へとつなげる軍事費を増やすことは許されないと訴え、全日本教職員組合の山本乃里子女性部事務局長は「平和を願う、多くの教職員の思いを力にしてたたかう」と話しました。JAL「不当解雇撤回裁判原告団の内田妙子客室

乗務員原告団長は「憲法を生かし、力を合わせて安倍政権を打倒しよう」と語りました。

静岡県から11人で参加した日本共産党の重岡秀子・伊東市議は「静岡は観光客も多いので『平和でこそ観光が成り立つ』と訴えています。戦争法案反対の声を広げていきま

す。

中央社会保険推進協議会が主催したもので

# 平和のためにペンをとれ

## 新聞労連大会始まる

日本新聞労働組合連合(新聞労連)の第26回定期大会が22日、東京都内で始まりました。大会議案で、「戦争のためにペンをカマラをとらない、輪転機を回さない」「今こそ平和のためにペンをとれ」と呼びかけまし

た。

新崎盛吾委員長は「朝日新聞ハッシングや自民党若手議員勉強会での報道弾圧発言などが起きている。国民世論の多数が反対している安全保障法案がすすめられている」と指摘。「私たちはしっかりまともまらぬとい

けない。報道弾圧発言

運動方針では、▽労働法制改悪阻止▽労働条件、職場環境、雇用を守る▽言論の自由を守る▽安保法制改悪、改憲を阻止▽秘密保護法廃止▽脱原発

特別決議「戦争法案の強行採決に抗議」「報道に対する圧力発言を許さない」の2本を提起し、28日に採択する予定です。

民放労連の斎田公生書記長、全労連の井上久事務局長、全労協の金澤壽議長が来賓あいさつしました。

三浦宣子書記長が運動方針案を提案。2015年度の最重要課題として「戦争法案・憲法改悪阻止、いのちと法改悪阻止、いのちと

平和を守る大運動(仮称)にとりくみ、職場決議や意見広告運動をすすめて、統一ストライキ権を確立し、全

国いっせいアピール大行動を実施したいと提案しました。社会保障拡充で安全・安心の医療・介護を実現させる

た。

全労連の小田川義和議長、日本共産党の内照文衆議院議員らが来賓あいさつ。日本看護協会とオーストラリア看護師助産師連合からのメッセージが紹介されました。